

青森中央経理専門学校 青森中央文化専門学校
学校関係者評価委員会 報告書

学校法人青森田中学園
青森中央経理専門学校
青森中央文化専門学校
学校関係者評価委員会

学校法人青森田中学園 青森中央経理専門学校並びに青森中央文化専門学校は
令和3年度第1回学校関係者評価委員会を開催いたしましたので報告致します。

●開催日

令和3年 9月 1日(水) 14:00～15:10

●開催場所

本学園9号館(学術交流会館)3階 934教室

●企業等委員

栗原 良明 氏 (FPエデュケーションズ青森 代表) 欠席
永井 栄 氏 (医療法人白鷗会 まちだ内科クリニック 事務長)
高坂 麻子 氏 (公益社団法人 青森観光コンベンション協会 事業推進監/ねぶたの家 ワ・ラッセ 副館長)
太田 智三 氏 (青森市横内町内会 町会長)
樽澤 康太 氏 (株式会社ティエル・マネジメント/青森中央経理専門学校卒業生)
今 順司 氏 (青森県アパレル工業会・株式会社蓬田紳装 取締役工場長)
泉谷 里奈 氏 (株式会社 アプティマルワ/青森中央文化専門学校卒業生)

●学校側

石田 憲久 (学校法人青森田中学園 理事長、青森中央経理専門学校 校長)
久保 薫 (学校法人青森田中学園 学園長、青森中央文化専門学校 校長) 欠席
櫻庭 肇 (学校法人青森田中学園 事務局長)
鈴木 伸吾 (青森中央経理専門学校 主任教諭)
曾我 武 (青森中央文化専門学校 主任教諭)
塚本 大広 (青森中央経理専門学校 教諭)
佐藤 紋子 (青森中央経理専門学校 教諭)
小笠原 華子 (青森中央文化専門学校 教諭)
大水 咲良 (青森中央文化専門学校 教諭)

●次第

1. 開会あいさつ

学校法人青森田中学園理事長 青森中央経理専門学校校長 石田 憲久

2. 出席者（委員）紹介

→資料に基づき、出席者を紹介

3. 規定・位置づけ

→資料に基づき、規定・位置づけを確認

4. 令和2年度自己点検評価結果について

→概要と取り組み状況・成果について説明

○基準4 教育成果

→令和3年3月末時点での就職率は青森中央文化専門学校が87.5%、青森中央経理専門学校が90.9%であった。また、令和2年度の退学者は青森中央文化専門学校が0名（令和元年度は0名）、青森中央経理専門学校が5名（令和元年度は0名）であった。

○基準6 教育環境

→今般の新型コロナウイルス感染症予防策として、キャンパス内にある建物の出入り口に設置したAIサーモカメラや非接触型体温計による検温、各教室内に手指消毒用の消毒液を設置するなどして対策を図っている。

○基準7 学生の募集と受入れ

→令和2年度入学者数は青森中央文化専門学校が7名、うち指定校推薦制度での入学者数は3名であった。青森中央経理専門学校が15名、うち指定校推薦制度での入学者数は11名であった。

5. 質疑応答・意見交換

→委員の皆様から自己点検・評価報告書に対する質問・意見等を頂く

委員からの質問・意見等	質問・意見等に対する回答
学生数が定員数に比べて少ない状況が続いているが、その上で経営状態が健全だというのは何か特別な対策をとっているのか。	学生数に関しては、年度によって多い時と少ない時があるのが現状ではあるが、幸いにして、経営状況については学校法人全体として見ており、各設置校の相互間の中でそれぞれを維持していければと考えている。
地元の中学校で、全学年を対象にアンケートを取って見たらどうか。今の中学生が何に興味を持っているのかを調査し、その結果を今後の学生募集の際に活用すれば良いのではないか。	文化では、キャリア教育の一環で一年に何度か出前講座で中学校に訪問しているが、アンケートはやったことが無いので、コロナ禍が落ち着いた際には中学校にお声がけしていただくとと思う。

<p>教育成果のところ、3月末での就職率が90.9%とあるが、これは1～2名がまだ就職されていないということか。卒業後も就職の対応を行っていると言うことだが、9月現在その卒業生の就職状況はどうなっているのか。</p>	<p>就職率については、卒業生22名中20名が3月末までで内定が決まり、2名が未定の状態で卒業したが、その2名については追跡調査でフォローを続け、1名は7月に内定の連絡があった。もう1名は内定した等の報告は来ていない状況である。</p>
<p>退学者について、コロナの影響はあったのだろうか。</p>	<p>特段、コロナの影響は無いと考えるが、各設置校の毎年の状況を見ていると精神疾患のある学生が多くなっているように思う。学習支援センターには心理士、保健師がおり、学校生活に関する相談やアドバイス等を受けることもできる。</p>
<p>Bunka Fashion Live について、日程など分かりにくい点があった。公式インスタグラムをフォローしているが、更新頻度が少ないため、告知を見逃してしまうことが多い。これから SNS を利用していくことはあるのかどうか聞きたい。</p>	<p>現時点では LINE・Instagram を利用しているが、ご指摘の通り、更新頻度が高いとは言えない。他校の SNS を見るとだいぶ力を入れてやられているので、これからの課題である。また、今年もファッションショーは開催の予定で進めているので、ご意見を踏まえ見逃さないように告知強化を図っていきたい。</p>
<p>経理のホームルームについて、1年生と2年生が一緒に教室に集まって行っているのか。その場合、密になってはいないか。</p>	<p>昨年度（令和2年度）は、学年ごとに分けてホームルームを実施した。今年度（令和3年度）は、学生数が少ないこともあり、一緒に教室で密にならないように学生同士の距離を取りつつホームルームを行っている。また、授業のときや終業式や始業式などの行事の際も大教場を使用し、座席の間隔を空ける等して、感染予防を図っている。</p>
<p>オンライン授業と対面授業では、成果に違いはあるか。</p>	<p>昨年度（令和2年度）にオンライン授業を実施したが、実施した時間数が少ないので成果をデータで持ち合わせてはいない。しかし、授業参加数0よりは、オンラインで参加できるのは大きなメリットであると思う。対面と比較すると、事例的に少ないので現時点では測れない。</p>

6. 次回日程（案）

→資料に基づき、次回日程（案）について説明

7. 閉会挨拶

学校法人青森田中学園事務局長 櫻庭 肇

以上をもって、終了した。